

学習eポータル標準化の推進について

文部科学省 総合教育政策局 教育DX推進室



学習eポータル概要①

◎日本の初等中等教育（学校教育）に適した共通に必要な学習管理機能を備えたソフトウェアシステム

①学習の窓口機能

多様な学習リソース（デジタル教科書・教材、各種ツールなど）の互換性のあるデータを学習eポータルで一覧的に可視化して活用することができる機能（個別最適な学び・協働的な学びへとつながる）

（機能例）

- ・ダッシュボード機能（児童生徒に関する情報を一覧にして可視化）
- ・時間割・スケジュール機能
- ・可視化・分析機能（MEXCBTや各種ツールの学習記録（スタディログ）等を可視化・分析することで学習や指導の改善につなげる）

※学習eポータルとデジタル教科書・教材等のデータ連携は、一部の教材等について独自仕様で実装しているものもあるが、学習eポータル標準モデルで示す標準規格に基づくものについては、標準規格を今年度策定予定であり具体的な実装は今後となる見込み。

②連携のハブ機能

シングルサインオン等のアクセスの容易化など、学習リソースの利活用の連携のハブとして機能（活用者が便利になるとともに、デジタル教材等事業者が個々のソフトごとに連携する手間が省けて不要なコストがかからなくなる。）

（機能例）

- ・学習ツール連携機能
- ・シングルサインオン機能（各ツールそれぞれにID・パスワードを入れてログインせずとも学習eポータルを通じ1度のログイン操作で複数のツールにアクセスできるようになる）

③文科省システム(MEXCBT)のアクセス機能

文科省が運用する公的C B Tプラットフォーム（M E X C B T）へアクセスする機能

機能の
考え方

協調領域	ツール間の相互互換性を担保するため、国際標準規格などの汎用的な定義を行い、各ツールとも実装	・学習ツール連携機能 ・スタディログ受け取り機能
競争領域	協調領域以外の部分は、各社が創意工夫を行い独自に機能を実装	・ダッシュボード機能 ・時間割・スケジュール機能 等

学習eポータル概要②

◎文部科学省教育データ標準において、「教育データの相互運用性を確保するための技術的標準」を位置づけ、その中で学習eポータル標準モデルを規定。

(https://www.mext.go.jp/a_menu/other/data_00001.htm#eportal_model)

◎ICT CONNECT 21において、事業者、研究者、学校関係者（約40社、約90人）により、学習eポータルの標準モデルや技術規格などを検討し、「学習eポータル標準モデル」を2021年3月に公表。2022年3月に改定し、「学習eポータル標準モデル version2.00」を公表。2022年度内に「学習eポータル標準モデル version3.00」を公表予定。

(<https://ictconnect21.jp/document/eportal/#standard>)

◎これらを踏まえ、各社・団体が学習eポータル標準に則った機能を実装（機能を実装したものを「学習eポータル標準準拠ソフトウェア」（学習eポータル）という）。

◎学習eポータル標準準拠ソフトウェアは、以下の通り。今後さらに増えていく見込み。

学習eポータル標準準拠ソフトウェア（学習eポータル）

<令和5年度全国学力・学習状況調査で利用可能な学習eポータル>

※令和5年度全国学力・学習状況調査 英語「話すこと」調査でMEXCBT利用予定。いずれも申込受付中。

- L-Gate（株式会社内田洋行）（現在利用可能）
- Open Platform for Education (OPE)（日本電気株式会社）（現在利用可能）
- まなびポケット（エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社）（現在利用可能）
- Studyplus for School（スタディプラス株式会社）（現在利用可能）
- Qubena（株式会社COMPASS）（現在利用可能）
- みらeポータル（株式会社ネットラーニング）（現在利用可能）
- R-Station（株式会社両備システムズ）（2023年2月7日利用開始予定）
- tomoLinks（コニカミノルタ株式会社）（現在利用可能）

○実証用学習eポータル（オンライン学習システム推進コンソーシアム）（現在利用可能）

<今後、申込み・運用開始予定の学習eポータル（令和6年度以降の全国学力・学習状況調査等では活用可能となる可能性がある。）>

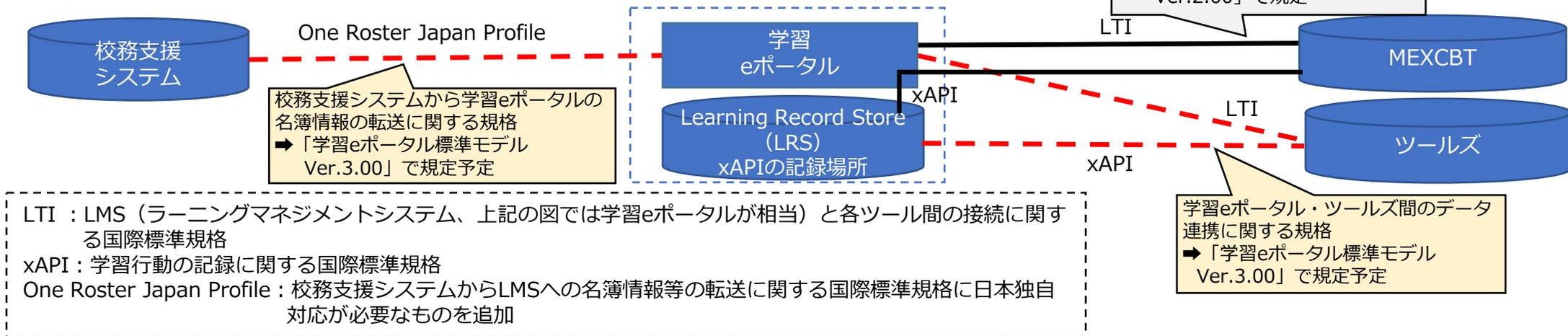
- スクールライフノートプラス（仮称）（株式会社EDUCOM）（2023年2月頃申込開始・2023年5月頃利用開始予定）
- ベネッセ学習eポータル（仮称）（株式会社ベネッセコーポレーション）（2023年2月頃申込開始・2023年5月頃利用開始予定）
- 高知家まなびばこ（高知県）（利用開始時期未定）

文部科学省における学習eポータルに関する取組（令和4年度）

「学習eポータル標準モデル（Ver.3.00）」の策定

- 令和3年度に策定された「学習eポータル標準モデル（Ver.2.00）」をもとに内容を改定
- 学習eポータルとMEXCBT以外のツールズ(デジタル教科書・教材や学習ツールなど)や校務支援システムが連携するに当たっての、データ連携の規格やエコシステム等について検討

→専門家会議において関係者と議論し方向性をまとめる



→デジタル庁事業（教育関連データのデータ連携の実現に向けた実証調査研究）との連携

「学習eポータル標準モデルVer.3.00暫定版（a版）」（令和4年10月作成）に基づき、One RosterやLTI、xAPIといった国際標準規格を用いて、学習eポータル事業者、ツールズ事業者、校務支援システム事業者が試行的に各システム間のデータ連携を実証。当該実証結果も踏まえて学習eポータル標準モデルVer.3.00をとりまとめ。

学習eポータルに関する調査研究等

- 「学習eポータル標準モデル」に関する適合性評価の在り方
- 「学習eポータル」の望ましいユースケース
- 「学習eポータル標準モデル」の普及促進

